

金蓮向土計画！

長財布でお金を貯める!!

【稼ぐ人は長財布を使う】

一方で震災以降、安くて使い捨てのモノよりも、

これまであまり真正面から

高くても漫い長財布を貯めました

最高級のサイフを特別製作。

誌上で大紹介したうえで、

まさに長財布本の決定版！



# モノすごい長財布

## Contents

AD・表紙デザイン／ベース 表紙写真／堤長則(WPP)

**6 財布ギャラリー****10 長財布最新情報**

FUNNY/ No, No, Yes!/ SLOW/ PAILOT RIVER/ SOLATINA/ 濱野皮革工藝/革蛸

**16 革蛸職人工房探訪****18 「稼ぐ人はなぜ、長財布を使うのか?」**

著者・亀田潤一郎さんインタビュー

**20 社長の財布を見て下さい!**

ストーンマーケット代表取締役・中村泰二郎さんインタビュー

**22 長財布はなぜ縁起が良いのか?**

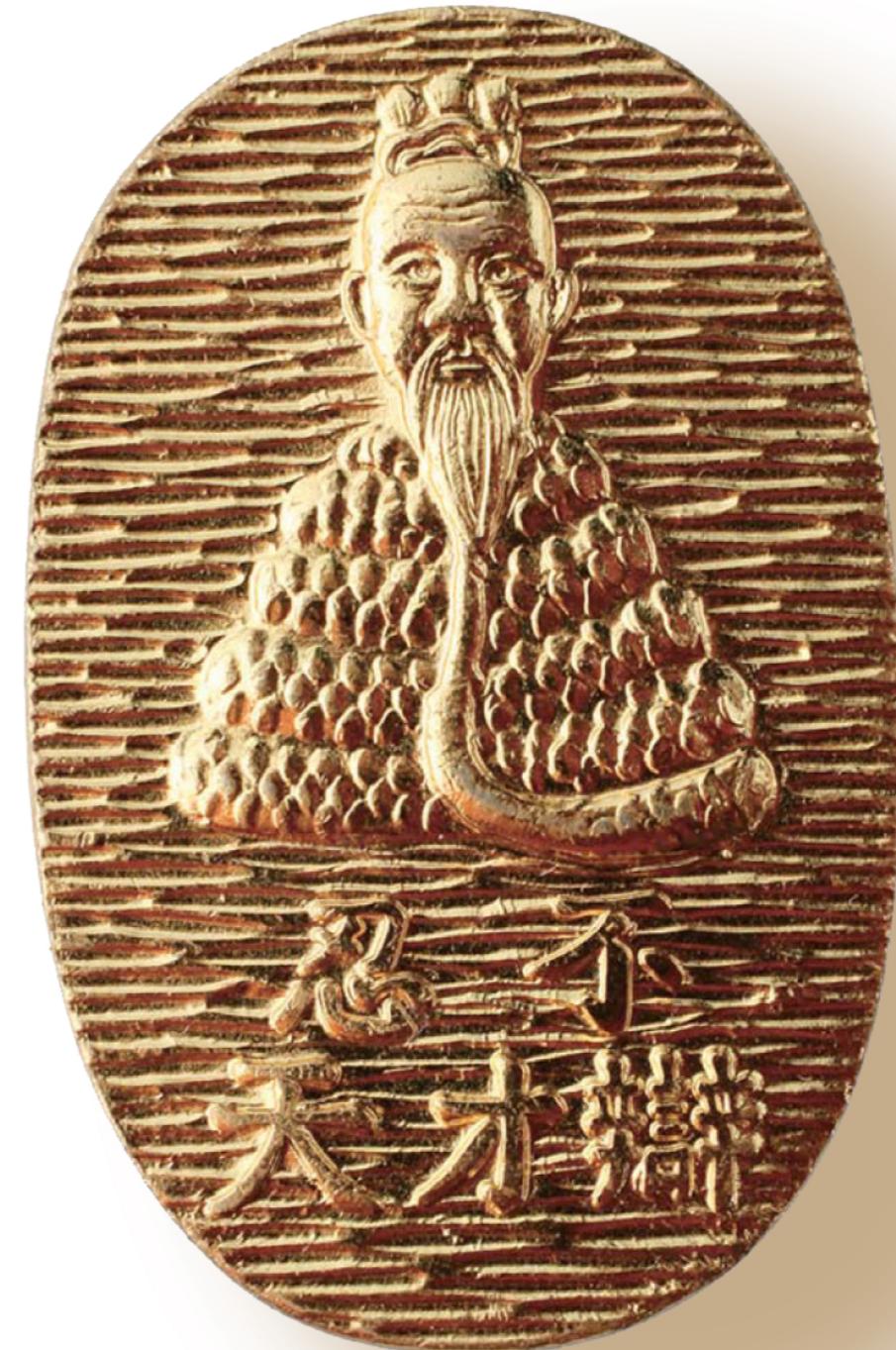
金運歴史絵巻

**28 江戸人が愛した粋な革財布**

甲州印伝の魅力

**32 財布に入れるとお金が貯まる!? 金運縁起物お守り****34 革と革職人の用語集****36 革が生まれる現場**

栃木レザー探訪

**38 下町のタンナー 若正****40 スペシャルウォレット  
限定販売!!**FUNNY/革蛸/革蛸ジパング/ TED MAN/ EXIT/スカイストーン・トレーディング/ LAST CROPS/  
池之端銀革店/Vedetta/TaRuMa-tsu/W CYAN/チェリー工房/ REDMOON/ PAILOT RIVER/  
minca/菱屋カレンブロッソ/ Devil Head/ Attractions/IregulaR/ PEGLET/rehacer×T&Y/  
Vasco/The THIRD/ GÖPPEL/Crossed Arrows**56 財布のコラム① 財布の博物誌****74 財布のコラム② 財布の役者絵****92 財布のコラム③ モノマガ流財布の選び方****91 問い合わせ**

不忍池弁天の金運守り

# 財布ギャラリー④

IregulaR

写真／藤井孝太郎(オウル)



# 財布ギャラリー③

TheTHIRD

写真／西村智晴



# 革蛸職人手工房探訪

幸運にも、現物を手にする機会に恵まれたら、絶句する他ない。  
現に、職人自ら「これはクレイジーですよ」と言い切るのだから。

写真／篠田奏也 文／堀田成敏



訪れたのは東京・西新井の工房。こぢんまりとした空間だが、整理整頓が徹底され、工房の主の几帳面さが如実に現れている。「阿修羅」のバーツは、基本的に手縫いの場合は、根本的にバーツ数を減らすもので、厚くても誰も信じないです。ほとんどクレイジーです(笑)。そもそも手縫いの場合は、根本的にバーツ数を減らすもので、厚くても見当がつかない。もちろん、完全無視ですか? 「阿修羅」のバーツは総数32点もあり、亀太郎さんはこれまで10個以上手がけてきたというが、素人目には何がどのバーツか皆見当がつかない。もちろん、表面なんていうものもない。すべては氏の頭の中に。

「すべてが規格外なんですよ。例えば、ステッチに使う糸。普通、この糸はレザークラフトに通じて扱ってきた糸とは比較にならないコシと強度。慣れて縫は使いません。ワークブースの縫製などに用いるもので、僕が今まで扱ってきた糸とは比較にここまで扱ってきた糸とは比較にならないコシと強度。慣れて縫えるまで1年以上かかる。本当に楽しそう。その証拠に、ここまで記すと、作業がいかに大変であるか氏の小言のようになるが、話しているときの目に間に腱鞘炎になりましたけど、やっと手が馴染んできました」

「革蛸レーベルのプロデューサー高野さんが持ち込んでくる革はホントに凄い。普通じゃ触れられないような革をどこから探してくる。これ、職人冥利に尽きますよ」

この愛情が革蛸の製品へと存分に注がれているわけだ。



## 革蛸

阿修羅ピュアオレンジ  
価格16万8000円

手に吸い付く革の質感、鮮やかかつ艶やかなオレンジ色。このただならぬ気配を醸し出す革の正体は、伊ワルビエ社が手がける植物タンニンなめし革「ブッテ一口」。革の中でも最高峰と称賛される素材を、贅沢にあしらった『阿修羅』が遂に完成した。ご覧のように、曲げられることを拒否するかのような、一筋縄ではいかないかぶせを象徴的に、さらに計29枚のカードが収納できるポケット群が独特なフォルムに華を添える。この『阿修羅』を手なずけるには相当な年月を要するが、それこそが手にした者にだけ許される喜び。是非とも一生モノとして覚悟の上、時には喧嘩しながらも大切にお付き合いいただきたい。サイズ: W23.5×H21.5cm(開いた状態)、正面ポケットのマチの背の厚さ1cm。

zeil wild craft (篠崎製作所)  
048-976-3426  
<http://www.zeil.jp/>

亀太郎さんが渾身の手縫いで仕上げた新作『阿修羅』。ステッチのひとつ縫い、ひとつ縫いに目を見張りつつ、磨き込まれたコバの美しさにうつとり。ここまでくると芸術品の域に達している。



その存在感は  
阿修羅のごとし!!



今年こそ  
財布を  
変えるぞ!

モノショップにて  
限スペシャルオーレット!!

福沢諭吉も  
おもわず  
ニッコリ

高くても凄い財布の特集の第2弾!  
人気のレザーブランド各社が、  
最高級のサイフを特別製作。  
誌上で大紹介&モノ・ショップで限定販売!  
今年こそ財布を変えよう!!

写真／堤長則(W P P)(P 42～55、P 58～73、P 76～90)



このマークです

「monoshop」マークが付いている財布はすべてモノ・ショップにて限定販売!!

<http://www.monoshop.co.jp/>

☎03-5385-5801

# 池之端銀革店

Dual

価格5万7750円

バッと見すぐ、男の艶っぽさを感じさせる財布である。それは、表側に使われたUKサドルレザーによる印象が大きい。このレザー、細部の繊維質まで口を濡透させることで強度や耐水性をアップ。そこに、適量のオイルグリースで仕上げを施し、マットな光沢感を羽織らせた。もうひとつの主役は各金具。チーンを繋げられるアラベスク（唐草）模様の金具や、燐加工を施したファスナー引き手がアンティークな雰囲気をプラスする。高品質な革と銀というふたつの素材を駆使する“銀革店”的矜持が詰まった一本なのだ。もちろんデザイン性だけでなく、6つのカード入れや、マチ付きの小銭入れを外側に付けるなど使い勝手も抜群。

サイズ：W9×H19×D1.8cm



使い込むごとに艶が増し色も濃くなり、革味の増すUKサドルレザーを表側に使用。6つのカードケース、三段仕切りの札入れなど、収納は細かく分けられている。



艶のあるサドルレザーに  
渋く輝くアラベスク



UKサドルレザーウォレット+純札入れ  
価格21万円

高品質のレザーにギミック的な仕掛けを盛り込み、魅力的な革小物を展開する「池之端銀革店」。今回、本誌企画のために用意してくれたのは、取り外し可能な純札入れが付いたUKサドルレザーのロングウォレット。縫製はすべてシニューによる手縫い。最高級のUKサドルを限界厚まですきなし、カードケース、札入れなどの間口に“みつけ”を貼って手縫いするなど、徹底的に作りこまれている。シルバー製の金具も、サンドキャスト製法によって職人がひとつひとつ手作業で仕上げたもの。砂粒のザラザラ感と銀のボリューム感がアンティーク品のような魅力を放つ。また、着脱可能な純札入れはスーツの内ポケットに収まるスマートタイプ。出来る男はオンとオフの切り替えが上手いもの。この財布で稼ぐ男になろう！

サイズW9.5×H19×D2cm



ウォレット本体の内装は、カード入れ6枚、札入れ、ファスナー式コインケース。さらに札入れとカード入れ6枚が付いた純札入れが付いている。純札入れは写真のように引き抜き、別々で使うことが可能だ。



池之端銀革店  
相田大輔さん

池之端銀革店の店長であり、同店オリジナルブランドのひとつ「Dual」の企画～製作を一貫して担当。最高級のUKサドルレザーに唐草モチーフを組み合わせた、カジュアルでエレガントなラインだ。相田さんは革ベルトの製作から独学でスタートし、現在は財布や小物類まで幅広く手がける。UKサドルに並々ならぬ愛着を持ち、その持ち味を活かしたアイテムを次々に展開する。

# DEVIL HEAD



限定  
ショートウォレット  
価格2万9400円



総ブライドルホース仕立ての限定少數生産。馬革の荒々しさを持つワンランク上のショートモデル。DEVIL HEADオリジナルゴールドステッチが全体を引き締める。

希少な革を使った  
限定少數生産ブランド始動！

初回生産60個(各カラー20個)に限りウォレットチェーン(別売り8400円)が特典として付きます。



カードポケット×10、  
ラージポケット×2、  
コインポケット×1、  
札入れ×2。TAKOジッパー付き。ジャバラのマチが付いているので使いやすい。DEVIL HEADオリジナルゴールドステッチが光る。上からナチュラルサドル、レッドサドル、ブラックサドルの計3色。



**Editor & Publisher**

今井今朝春  
Kesaharu Imai

**Cover Design**

水野 拓(ベース)  
Taku Mizuno(Base)

**Design**

水野 拓(ベース)  
Taku Mizuno(Base)

**Editor**

関谷和久  
Kazuhsia Sekiya  
杉本恵理子  
Eriko Sugimoto

**River**

河村喜代子  
Kiyoko Kawamura

**Staff Photographer**

堤 長則  
Naganori Tsutsumi  
熊谷義久  
Yoshihisa Kumagai  
油谷康司  
Yasuji Yushina  
鶴田智昭  
Tomoaki Tsuruda  
青木健格  
Takenori Aoki  
宮坂政邦  
Masakuni Miyasaka

**Advertising Staff**

鈴木敏弥  
Toshiya Suzuki  
上田秀一  
Shuichi Kanda  
瀧口大輔  
Daisuke Takiguchi  
千葉裕司  
Yushi Chiba  
篠崎美穂  
Miho Shinozaki  
高林純  
Jun Takabayashi

**Production Director**

小川俊介  
Shunsuke Ogawa

**Circulation Manager**

笹川裕史  
Hiroshi Sasagawa

**Print**

Dai Nippon Printing Co., Ltd.

**DTP  
Base**

Correspondents, Washington, D.C. Bureau  
(Pictorial Press International)  
Norman T. Hatch  
Mikako Burks



「モノすごい手帳」も  
好評発売中!

WORLD MOOK

ワールド・ムック909(通巻909号)  
平成24年3月5日発行

mono 特別編集

モノすごい長財布

編集・発行人 ●今井今朝春  
発行所 ●株式会社ワールドフォトプレス  
〒164-8551 東京都中野区中野3-39-2  
TEL: 03(5385)8111[編集部]  
03(5385)5701[販売部]  
03(5385)5658[広告営業部]  
FAX: 03(5385)5614[編集部]  
03(5385)5703[販売部]  
03(5385)5614[広告営業部]  
印刷所 ●大日本印刷株式会社

© WORLD PHOTO PRESS 2012  
造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁などの不良品がございましたら販売部あてにお送りください。  
送料弊社負担にてお取り換えいたします。本誌掲載記事の無断複製転写を禁じます。  
弊社出版物のお申し込みはインターネットをご利用いただけます。<http://www.monomagazine.com>  
●本誌に掲載されている店舗と商品情報は平成23年11月20日現在の調べによるものです。また文中の価格は  
すべて消費税込みの総額表示です。